

歯並び・かみ合わせの異常には様々なものがありますが、次のような状態があれば、早目に歯科医院で相談されることをお勧めします。

反対咬合(受け口)

下の歯が上の歯よりも前に出かむ状態です。舌の癖や口呼吸があるとより悪化するとされています。(乳歯が生えそろう前の時期(2歳未満)はかみ合わせが安定しにくく、一時的に反対咬合になっている場合もあります。)



開咬(開口)

奥歯をかんでも上下の前歯が当たらない状態です。指しゃぶりや舌の癖、口呼吸などが関係しています。放置すると、治療が難しくなります。



上顎前突(出っ歯)

指しゃぶりや唇をかむ癖、口呼吸などを早めに治すと悪化するのを防ぐことができます。



おしえて! 歯医者さん

Q 矯正治療はどの時期に始めるとよいのでしょうか?

A 矯正治療の時期は

- ① 全て乳歯の時期
- ② 永久歯が生え始め、乳歯が残っている時期
- ③ すべて永久歯に生えかわった後に分けられ、それぞれの時期によって治療目的・内容が違います。どの時期に治療するのが良いかは、ひとりひとり異なります。少しでも気になったら、かかりつけの歯科医院や矯正歯科で相談しましょう。

気になるわ!



Q 指しゃぶりはいつまでに止めればよいのでしょうか?

A 指しゃぶりは子どもの精神的な成長や理解度に合わせて解消されるのが良いでしょう。目安としては3歳を過ぎたら早い方が望ましいのですが、無理やり止めさせるのではなく、子どもと話し合いながら止められるようにしましょう。



協力 / 三重県歯科医師会

〒514-0003 津市桜橋2丁目120番地の2 ☎059-227-6488 (代)

<http://www.dental-mie.or.jp>

日本歯科医師会 PR キャラクター よ坊さん(三重県)

